箕面ビジターセンターだより

~明治の森箕面国定公園の自然と生き物~

冬の特集号 (1月・2月・3月号)

明治の森箕面国定公園は四季折々に多様な生き物がみられます。このパンフレットは国定公園に生息する生き物たちと彼らの暮らしを紹介します。

水辺の鳥たち 冬の箕面川ダム湖やオケ原池、ふもとの池では、さまざまな水鳥たちを見ることができます。カルガモは日本で子育てをし、年間を通して見られますが、多くのカモは、冬になると渡ってきて、水辺はにぎやかになります。







オシドリ

To the second se





上:マガモ 下:オオバン

カルガエ

コガモ

ホシハジロ

キンクロハジロ

アオサギ、コサギ、キセキレイ、カワセミは年間を通して見ることができます。









アオサギ

コサギ

キセキレイ

カワセミ

カワガラスの子育て カワガラスは渓流のみに生息する鳥で、国定公園ではよく見かけます。多くの鳥は暖かくなってから子育てをしますが、カワガラスは主な餌となる水生昆虫が大きくなる冬の間に子育てをする珍しい鳥です。







交尾

巣の材料を運ぶカワガラス

グレーの羽毛のカワガラスの幼鳥

冬の鳥たち 小さな体で寒い季節を生き抜くために、鳥たちは冬の森で様々な食物を探します。







ルリビタキ ヤマガラ

ミソサザイ

冬に開花するツバキなどの花蜜や残された木の実は、虫のいないこの時期の重要な食べ物です。実がなっている場所 でしばらく観察していると様々な鳥が飛来します。植物側から見れば鳥たちは花粉や種子を運んでくれる存在です。 ※()は植物名









メジロ(ツバキ)

ヒヨドリ(クマノミズキ)

シジュウカラ(ナンキンハゼ) エナガ(ナンキンハゼ)









ヒガラ(スギ)

ヤマガラ(ヒマラヤスギ)

コゲラ(カラスザンショウ)

アオゲラ(カナメモチ)









ジョウビタキ♂(アカメガシワ) ジョウビタキ♀(ビワ)

ウグイス(カキ)

トラツグミ(カナメモチ)









シロハラ(センダン)

ウソ(ウツギ)

アトリ(ヤシャブシ)

ツグミ(カキ)

春の訪れ 立春をすぎると、早春の花が咲き始めます。開花時期は年によって変わります。



箕面の森の動物たち

ニホンザル以外の野生動物は人が近づくと逃げてしまうため、観察するのは難しいのですが、動物の体温を感知して 作動する自動撮影カメラを使うと、たくさんの哺乳類が生息していることが分かります。



成虫で越冬するチョウ 厳冬期はじっとして動きませんが、寒さが緩む早春から活動を始めます。まだ気温は低くても日差しがある日は飛んでいたり、石の上などで日光浴をしていたりする姿が見られます。



NPO法人みのお山麓保全委員会 Tel/Fax:072 (724) 3615 HP: http://yama-nami.net/ (検索:山なみネット)

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park

